

おおぐち —ふれあいネットワーク—

社協だより

7月

2010
No. 71

社会福祉法人

大口町社会福祉協議会

〒480-0126

大口町伝右一丁目35番地

大口町健康文化センター2F

TEL (0587)94-0060 FAX 94-0059

IPhone 95-7202

E-mail:chiikifukushi@oguchi-shakyo.or.jp http://www.oguchi-shakyo.or.jp

「福祉」

「ふくし」「あつた」「くろせる」「やかい」「つくり」をめざします。

社会福祉協議会会員加入に、

ご協力をお願いします。

町民の皆様、平素は社会福祉協議会地域福祉事業に対しまして、深いご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社会福祉協議会では、「誰もが、安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目指し、老人福祉を始め、心身障がい児者福祉、母子父子福祉、ボランティア育成などの諸事業に取り組んでおり、この諸事業の充実には町民皆様の温かいご支援が不可欠となっておりますのでございます。

平成二十一年度会員（一般会員・賛助会員・法人会員）の納入につきまして、各区長さんを通じて七月～八月にかけてお願いをしております。

どうか、昨年度加入の方は今年度も引き続きお願いをし、更に新規の方におかれましても、趣旨をご理解いただきご協力を賜りますようお願いいたします。

社会福祉法人 大口町社会福祉協議会
会長 舟橋宣成

— 平成21年度会員加入実績 —

項目	加入数	会費額（円）
一般・賛助会員	4,942件	2,532,000円
法人会員	67件	429,000円
その他（個人・職域）		6,150円
合計		2,967,150円

（内）（容）

- 社協会費について 1
- 社協評議員会開催について 2
- 善意だより 6
- 大口子育て情報「ぎゅっと」 7
- ボランティア情報局 8, 9
- 身障協会、親の会だより 10
- 介護豆知識「杖の選び方」 11
- 社協伝言板 12

宮崎県口蹄疫被害義援金

募集中

大口町共同募金委員会では、「宮崎県口蹄疫被害義援金」募金箱を大口町社会福祉協議会窓口にて設置し募金活動を実施しております。

被災地（者）への温かいご支援をお願いいたします。

募金期間 .. 七月三十日（金）まで

お問い合わせ

大口町共同募金委員会

（大口町社会福祉協議会内）

社会福祉協議会

評議員会開催

平成二十二年三月二十九日(月)大口町健康文化センター一階多目的室において評議員会が開催され、左記議案を慎重にご審議を賜り全議案とも原案通り可決いただきました。

◎ 議案第四号

平成二十一年度社会福祉法人大
口町社会福祉協議会一般会計補
正予算(第一号)について

◎ 議案第五号

平成二十一年度社会福祉法人大
口町社会福祉協議会事業計画に
ついて

◎ 議案第六号

平成二十一年度社会福祉法人大
口町社会福祉協議会一般会計予
算について

本年度事業方針

経済、雇用の厳しさにより、何が支えになり、また何が利用できるのか、混沌とした中で日常生活を営む世帯が増加、本町においても同様の傾向があり、相談件数は経済不況前の約6倍に達しております。この現状に国・県は、支えを必要とする世帯に対する支援施策(セーフティネット)の機能充実をはかるとともに、緊急雇用対策の一環として相談窓口の一元化をはかる「ワンストップ・サービス・デイ」を実施する等、社協・行政・関係機関が連携し努めており、今後も増加するであろう世帯に対し連携を一層密にし、相談及び支援の充実をはかって参ります。また、地域の「福祉のニーズ」に対しても福祉関係団体並びにボランティア団体、地縁組織等と協働し、利用者に応えるべく事業の充実をはかり、迅速かつ柔軟で誠心誠意をもった対応を常とし、『誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり』の実現を目指し努めて参ります。

大口町社会福祉協議会事業計画

一. 社協組織の充実と会員の増加

自主財源確保のため、相互扶助推進の高揚を図り、会員の確保と拡大を推進し会費の増収に努める。理事会、評議員会を開催し社協組織においての情報共有に努め、社協組織全体での研修会を開催し地域福祉についての理解を深め方針達成に向かって努力する。



二. 広報活動

広報「社協だより」を年4回発行し情報提供の充実を図るとともに、ホームページにおいても社協事業を公表し、事業の利用及び参加・協力を働きかけていく。



三、ボランティア活動の強化と拡大

ボランティア連絡協議会と協働しサークルの組織強化と活動拡大に努める。

ボランティアサークルの開放を行い、広く町民の方々に活動を周知する。

各種講座を開催し、ボランティアの育成とグループの補強と支援を図る。

ボランティアセンター運営委員会、ボランティア連絡協議会合同研修を開催し、近隣市町の情報の収集と共有をはかりボランティア活動の拡充に努める。

ボランティア活動等を社協だより及びホームページへ掲示し、ボランティア情報を発信する。

ボランティア団体への活動育成助成費を援助する。



四、児童福祉

町内小中学校と協働し福祉教室（福祉実践教室・総合学習）の振興を図る。

夏休みに親子福祉教室を開催する。

子育て支援サークルに支援する。おもちゃ病院「おおくち」の活動を支援する。



五、老人福祉

敬老を祝い、ボランティアの協力により八十五歳以上の方を対象に記念写真を撮影し贈呈する。

「高齢者肖像事業」

民生委員、ボランティアの協力により八十歳以上の単身高齢者・高齢者世帯を対象におせち料理を

年の瀬に贈る。「おせち料理配布事業」

町内対象者、施設入所者に対し「敬老の日」のお祝い品を贈る。



六、心身障がい児者福祉

大口町障がい者スポーツ大会運営委員会の企画運営により「障がい者スポーツ大会」を開催する。

視覚障がい者への音訳サークルによるカセットテープ・CDを利用した「声の広報」サービス、点訳サークルによる点訳サービス及びバリアフリー化支援ソフトを使用したホームページより福祉情報を発信する。

町在住の重度障がいをお持ちの方に年1回助成を行う。

重度身体障がい者旅行事業（通称：晴れ晴れ会）を開催する。

大口おもちゃ図書館「さくら」の活動を支援する。



七、母子父子福祉

ひとり親家庭を対象とした「ひとり親家庭夏休み日帰り旅行」を行い、ふれあい・交流機会の提供をする。

母子家庭等に対する就業支援とし「就業相談日」を月2回設ける。母子寡婦福祉会への活動支援及び会員拡大に努める。

小学校、中学校入学のひとり親家庭を対象にお祝いを贈る。



八、福祉関係団体の育成・助成

身体障害者福祉協会、心身障害児(者)親の会、尾北精神障害者家族会、尾北地区聴覚障害者福祉協会、遺族会、更生保護女性会、保護司会、母子寡婦福祉会の活動支援として助成金を交付し事業の推進を図る。



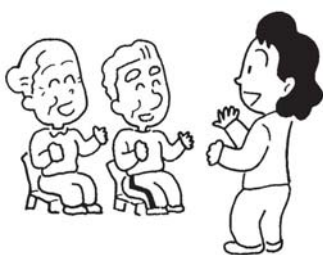
十、在宅福祉サービス

3 事業所の経営

大口社協居宅介護支援事業所(介護・介護予防・町受託事業)
大口社協訪問介護事業所(介護・介護予防・障害者自立支援・町受託事業・独自事業)



大口社協デイサービスセンター
(介護・介護予防・町受託事業・独自事業)



十一、福祉関連事業

総合福祉相談窓口を常設する。
民生児童委員、愛知県母子自立支援員、愛知県女性相談員、関連福祉団体相談員等の協力により「心配ごと相談所」を毎月第一〜第四水曜日に開設する。
日常生活自立支援事業相談窓口を開設するとともに、事業の啓発に努める。



県・町くらし資金による緊急一時貸付事業、生活福祉資金貸付事業を実施する。

緊急一時支援事業として、相談及び物資の提供にあたる。

貸出事業(車椅子・松葉杖・わた菓子機・ポップコーン機・福祉教材・福祉車両)を行う。

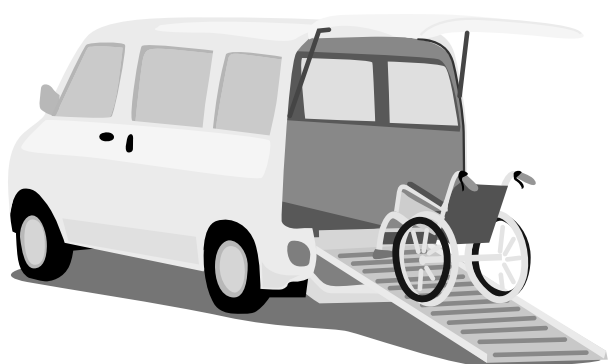
ふれあいまつりにおける「ふくしわくわくランド」を開設し町民

への周知と啓発に努める。

丹羽郡ふれあいグラウンドゴルフ大会を開催し世代交流を図る。

福祉関係者を一同に会した「福祉のつどい」において顕彰及び講演会等を開催する。

その他社会福祉事業に必要な事業を推進する。



九、共同募金

大口町共同募金委員会とともに共同募金事業の啓発と目標額の達成に努める。

共同募金配分金事業の推進と充実に努める。

共同募金配分金事業を広くPRをし、協力事業所の拡大と住民の認識を高める。



毎月行う経営会議により経営強化に努める。

役員・評議員の改選

この度理事の欠員に伴う改選があり、五月二十六日の評議員会に於いて三名の方々が選任されました。併せて理事会に於いて、二年十ヶ月にわたり会長職を務めていただきました酒井会長が退任をされ、舟橋新会長、水野新副会長が選任され、活躍をいただくこととなりました。

役員

○印 新役員

会長	舟橋 宣成
副会長	水野 清胤
常務理事	田中 義郎
理事	社本 良子
〃	〇 丹羽 孝
〃	渡辺 一己
〃	酒井 見義
〃	前田 孝徳
〃	廣瀬 艶男
〃	楠 靖男
〃	〇 松本 政治
〃	加藤 英也
〃	三浦 京子
〃	〇 前田 守文
〃	長屋 孝成
〃	服部 光延
〃	福富 弘之
監事	

退任の挨拶

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。さて、私ことこのたび三月三十一日をもって社会福祉法人大口町社会福祉協議会会長の職を退任致しました。在職中は皆様方の公私にわたる格別のご厚情を賜わり厚くお礼申し上げますとともに、今後とも代わらぬご厚誼を賜わりますようお願い申し上げます。皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、略儀ながら書中をもちまして退任のご挨拶といたします。

平成二十二年四月

酒井 義次

敬具

就任の挨拶

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。さて、私ことこのたび四月一日付けをもちまして社会福祉法人大口町社会福祉協議会会長に就任致しました。もとより微力ではございますが、地域福祉の推進のため精一杯努力してまいります。皆様方のご指導ご鞭撻を賜わりますようお願い申し上げます。まずは略儀ながら書中をもちまして就任のご挨拶といたします。

平成二十二年四月

社会福祉法人大口町社会福祉協議会

会長 舟橋 宣成

評議員

五月十九日開催の理事会に於いて新しく選任された方々

村上 清	秋田区代表
松岡 元治	豊田区代表
宮地 弘信	大屋敷区代表
藤田 光孝	外坪区代表
仙田 勝彌	河北区代表
齊木 俊晴	余野区代表
木野 勝己	中小口区代表
大島 保憲	下小口区代表
伊神 英臣	さつきヶ丘区代表
古瀬 辰郎	学校代表
今津 守隆	福祉施設代表



平成22年度大口町社会福祉協議会予算のあらまし

予算総額 **130,330,000**円

「収入」

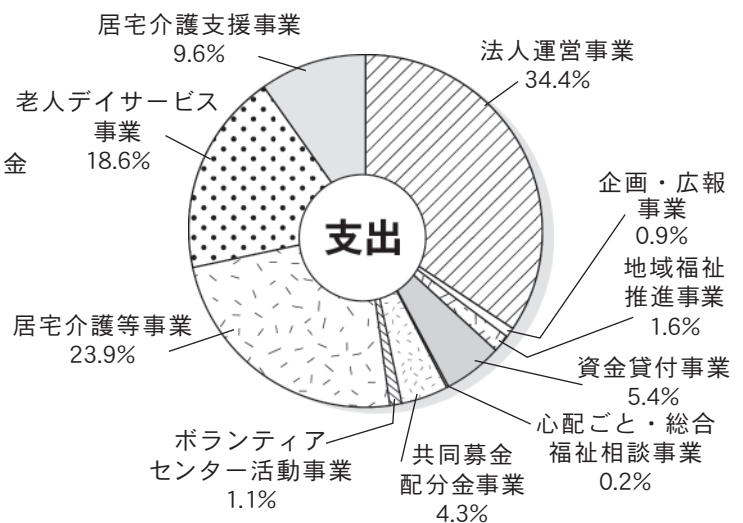
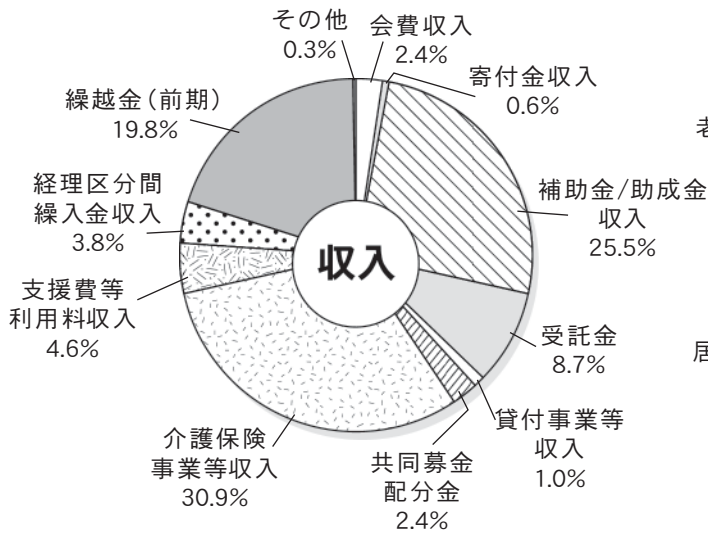
(円)

会費収入	3,180,000
寄付金収入	800,000
補助金/助成金収入	33,160,000
受託金	11,336,000
貸付事業等収入	1,314,000
共同募金配分金	3,157,000
介護保険事業等収入	40,238,000
支援費等利用料収入	6,032,000
経理区分間繰入金収入	4,885,000
繰越金(前期)	25,786,000
その他	442,000
収入合計	130,330,000

「支出」

(円)

法人運営事業	44,865,000
企画・広報事業	1,207,000
地域福祉推進事業	2,030,000
資金貸付事業	7,029,000
心配ごと・総合福祉相談事業	310,000
共同募金配分金事業	5,595,000
ボランティアセンター活動事業	1,386,000
居宅介護等事業	31,156,000
老人デイサービス事業	24,208,000
居宅介護支援事業	12,544,000
支出合計	130,330,000



匿名氏名(敬称略受付順)	内容
大口市外坪老人クラブ一四	一〇〇〇円
大口町建設協力会	一〇〇,〇〇〇円
ユ一株式会社営業統括本部	七,七四三円
小さな善意で大きな愛の輪	七,七四三円
匿名	四,〇〇〇円
愛銀ライフサークル	一〇〇,〇〇〇円
会長 幅 健三	二,〇〇〇円
匿名	三,〇〇〇円
匿名	〇〇〇円

大口町の福祉に役立ってほしいと大口町社会福祉協議会にありがたい寄付が寄せられました。
これらの善意は、大口町の福祉のために大切に使用させていただきます。
(順不同・敬称略)

二月二十一日
～五月二十五日お取り扱い分

「寄付はねがわぬじわごほ」

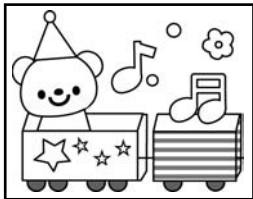




【編集】特定非営利活動法人「まみーぽけっと」

【HP】
<http://www.geocities.jp/mammypocket/newpage1.htm>

『まみーぽけっと』って何？



「ママの笑顔が社会をつくる」を理念に、子どももママも輝けるまちづくりを目指して活動しています。

ここの発端は？

大口町主催のまちづくり講座「あおぞら塾 子育て子育て部会」の有志で2003年4月「マミーポケット」を結成。メンバーは、全員幼児を連れ、「子育て中のお母さんには、どんな支援が必要なの？」と母親目線で熱く語りあいました。まずは、情報誌「ぎゅっと」を社会福祉協議会の協力のもと発行することになりました。

2004年に大口町NPO登録団体として登録し、名称を「まみーぽけっと」と改称。「大口町元気なまちづくり事業」の助成を受け、活動が活発化してメンバーが増えてきました。

これまでの活動は？

「おもちゃ病院おおぐち」の設立へ

犬山ポニーおもちゃ病院の協力をえて、町内で『おもちゃ病院』を年2回のペースで開催し、「ドクター養成講座」を開催しました。(2003年～2007年)

「ママたちにもリフレッシュ休暇を」を開催

「たまには、子どもと離れてのんびりお茶したい。美容院に行きたい。就職活動をしたい」等のママ達の要望に応え、託児施設「つくしん房」の協力により、手軽に利用できる託児をしました。

(2005年)

「ママたちのココロのごほうび講座」

(2007年)

小児科医、幼稚園園長、絵本作家などを招いての講演会



現在の活動は？

子育て情報誌「ぎゅっと」の発行

大口町に住むママ達のお役立ち情報をぎゅっとつめ込んだ小冊子です。町の委託を受けてます。

保健センター2F・福祉こども課、児童センターなどに置いてあります。

マミーズカフェ・ふらっとルームの開催

毎週木曜日10時～14時、南児童センターにて
利用料：親子で300円(1ドリンク付き)
ランチプレート(400円～)

ママ達の趣味や特技を提供するチャレンジスペースを開催。(カイロプラクティック・デコレーション・フェイシャルなど)

親子託児

子育て真っ最中のお母さんの託児体験は気づきがいっぱい。子連れスタッフを中心とした、時には預け、時には預かる託児システムを作っていきます。



ニュース

ゆうらく・まち～こどものまち～

主催 子どもと文化の森

以前開催した子どもがつくるお祭り「遊楽祭」をご存知ですか？子どもたちがお店を開き、通貨「ダッシュ」でやりとりをします。今年は、パワーアップして、夏休みの二日間、開催します！

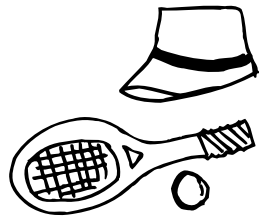
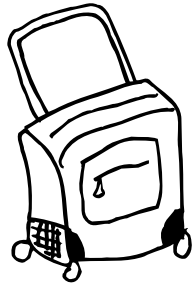
8月28日(土)・29日(日) 10時～15時

大口町健康文化センター 4F

☆まみーぽけっとをはじめさまざまな団体とのコラボで実施します。



ボランティア 情報局

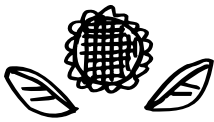


今年もボランティア開放をおこないません～。ほんのちょっぴりの興味でかまいません。

ぜひ、のぞいてみてくださいね。

ボランティア開放

団体名	開催日	開催時間	場所	P	R	特記事項
大口おもちゃ 図書館さくら	7月10日 (土)、 8月19日 (木)	10:00～ 15:00	健康文化センター 2階 おもちゃ図書館			子供の笑顔とおもちゃがいっぱい。あなたの笑顔が必要としています。おもちゃ図書館をのぞいてみてください。
手話サークル ほほえみ	毎週木曜 (8/12は休み)	19:00～ 20:45	健康文化センター 2階 ボランティア室			開催日は特別設けませんので、木曜日にお越しください。あいさつや指文字など日常生活で使う手話単語から体験してみてください。初心者の方もいますので気楽においで下さい。
高齢者 疑似体験 うさぎとかめ	7月21日 (水)	9:30～ 11:30	健康文化センター 2階 ボランティア室			年齢とともに、身体の機能が衰えていくのは誰もが知っていることです。おじいちゃん、おばあちゃんはどうなことで不自由を感じているか体験してみませんか？
音訳ボランティア たんぼぼ	7月22日 (木)	13:00～ 15:00	健康文化センター 2階 ボランティア室			広報おおぐち8月号の一部を読んでもらい、パソコン録音します。後日、役場のホームページからそれを聞くことができます。一度体験してみませんか？
広場もくせい	7月28日 (水)、 8月11日 (水)	13:30～ 14:30	御桜乃里			毎月第2と第4の水曜日午後1時半より2時半ごろ（場所によっては3時まで）まで、クリーニングされてきたオムツをたたみます。

手話サークル コスモス	7月29日 (木)、 8月5日 (木)	10:00~ 12:00	健康文化センター 2階 ボランティア室	手話で自分の名前をあらわしてみよう!	
ガイド ボランティア あいあい	8月5日 (木)	9:30~ 11:30	健康文化センター 2階 まかせてルーム	「見えない・・・」ってどういうこと・・・??簡単な手引きの仕方、アイマスクをつけて、おやつを食べてみたり、パソコンを打ってみたり・・・ゲームをしたり。さあ～みんなで楽しく体験してみましよう!	どなたでもOKです
災害救援 ボランティア	8月21日 (土)	9:30~ 11:30	福祉会館 調理室	もしも災害が起きたら、あなたはどうしますか?食べ物、水は大丈夫ですか?	小学生・中学生の参加を歓迎します。
要約筆記 スマイル大口	8月23日 (月)	10:00~ 12:00	健康文化センター 2階 ボランティア室	耳の聴こえの悪い方に書いて知らせるボランティアです。OHPとスクリーンを使い、実際に書いて体験していただきます。	参加年齢 小学5年生以上。大人の方大歓迎です。
おもちゃ病院 おおぐち	8月14日 (土)	10:00~ 12:00	健康文化センター 2階 「まかせて広場」	おもちゃをすてるなんてもったいないよ!「物を大切にする心や思いやりの心」でおもちゃの修理にチャレンジしてみませんか。	こわれたおもちゃがあつたら、持ってきて、おもちゃ病院のスタッフといっしょに修理をして動くようにして楽しみませんか。



ちょっとでも不安なことは、社会福祉協議会内、ボランティアセンターまでおたずねください~

TEL 0587-94-0060

fax 0587-94-0059

■編集後記■ 取材・作成 / 編集ボランティア OZ

昨年の夏に、大口町役場に用事があって行った所、役場東側の入り口から入ってすぐの税務課前カウンター付近で窓を眺めると、目の中に飛び込んで来たのは、ゴーヤの鮮やかな緑のカーテン、外から眺めていた緑と違って内側から見るゴーヤのカーテンは、また一段ときれいでした。静かな昼下がり、椅子に座って待つ間ずっと眺めていました。緑があるっていいものですね。ホッと安らぎます。優しい光の中で癒されながら、いつまでも緑豊かで心穏やかに暮らせる町でありますようにと願って・・・。



大口町 身体障害者福祉協会だより

去る四月二十一日（水）大口町健康文化センター一階「多目的室」において、二十二年度総代会が開催されました。

当日は、地区会員の代表であります総代さんが集まり、左記全議案の承認をいただきました。

これにより二十二年度が本格始動し、今年度も障がい重い軽い関係なく、どなたでも参加できる事業を一つでも多く企画・実施できるように参加者皆が心新たに考える機会となりました。

総代会議案

- ・平成二十一年度身障協会事業報告
- ・平成二十一年度身障協会歳入歳出決算
- ・平成二十二年身障協会事業計画
- ・平成二十二年身障協会歳入歳出予算



総代会の1コマ

身体障害者福祉協会とは

身体障害者手帳を所持してみえる方が、お互いに助け合いながら、残された機能の維持向上と社会参加を目指し、互いの交流を深めつつ社会福祉施策の充実要求等を目的に設立されています。

大口町心身障害児(者)

親の会だより

大口町心身障害児(者)親の会総会が開催されました。

去る五月十三日（木）親の会総会を大口町長様、社協会長様、関係各位のご臨席を賜り会員の三分の一以上の出席の中、左記議案の全てが承認されました。

総会議案

- ・平成二十一年度事業報告
- ・平成二十一年度会計報告
- ・平成二十二年事業計画
- ・平成二十二年予算

総会終了後、会員と来賓の方との意見交換が行われ有意義な時間を過ごすことができました。



森 町長さんより祝辞をいただきました。

今年度も会員の親睦と障がい児(者)の社会参加を目的とした「野外活動」「丹羽郡親の会研修交流会」「学齢部員の活動」「クリスマス会」など、楽しい企画を実施したいと考えております。

今年度も引き続き当会に対しご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

心身障害児(者)親の会とは

町内在住で心身障害児(者)を養育している保護者の会で、心身障害児(者)の福祉増進に関することと、会員相互の連絡と親睦を目的に活動しています。

事業紹介

新入学祝品配布
クリスマスプレゼント配布
日帰り交流会開催 など

*入会等お問合せは社会福祉協議会
まで 電話 94-0060

入会者募集

母子寡婦家庭のみなさんへ
大口町母子寡婦福祉会

母子寡婦家庭の方対象の会です。
仲間たちと交流しながら
一緒に活動してみませんか？





杖の選び方 ～杖を選ぶときは専門家に相談を～

杖を選ぶときは理学療法士などの専門家に相談するようにしましょう。転ばぬ先の杖ということも言われますが、いつでもどこでも杖を使っていると、本来自分の持っている身体的な機能が落ちてしまうことにつながります。身体的な機能が落ちないように杖を使いこなすことも大切なことです。その点で専門家によるアドバイスが大切です。

～杖の長さの決め方～

杖の握りの高さは、体重をかけるとき適度な位置にこないと使いにくいものです。柄の長さを決めるには、次のような方法があります。どちらも大体同じ長さになります。靴はいつも履いているもので測ります。



～姿勢によっても適正な長さが異なります～

腰や背中が曲がったやや前傾姿勢の高齢者には2～3 cm短めにするとうい場合が多いようです。おおよその長さは、いつもはいている靴を履き、前傾姿勢のまま身長を測り、2で割り3 cmを加えた長さです。



いろいろな杖の一例を紹介いたします。

長さ調節ができるタイプ

折りたたむことができるタイプ

カバンの中に入れておけるので便利です

4点杖

杜協伝言板

共同募金配分事業

高齢者肖像事業

社会福祉協議会では、長寿を祝い町内在住の高齢者の方に写真をプレゼントします。

お一人だけでなく、ご家族やお友達と一緒に、趣味やスポーツに打ち込む姿などをお写真にしてみませんか。

対象者

町内在住で、八十五歳以上（大正十四年九月一日以前にお生まれ）の方で、過去にこの事業に申し込まれていない方。

定員 六十名（定員になり次第受付けを終了させていただきます。）

申込方法

七月五日（月）午前九時より事務所へ来所又は電話等でお申込み下さい。

撮影費用 無料

その他

家族や代理の方でも申込みは可能です。

デジタルカメラで撮影をしますので、その場で現像したい写真を選んでいただきます。

共同募金配分事業

ひとり親家庭

夏休み日帰り旅行

今年の夏は

サファリへ行こう！

今年も夏休みの一日を親子で楽しんでいただこうと、日帰り旅行を計画いたしました。

富士サファリパークで動物たちをご覧いただき夏休みを満喫してみませんか！

ひとり親家庭のみなさん、多数のご参加をお待ちしています。

日時：八月七日（土）

七時二十分集合三十分出発

二十時三十分帰着予定

行き先：富士サファリパーク

参加費：大人（高校生以上）

三, 000円

小人（四歳以上）中学生

一, 500円

参加費に含まれるもの

往復バス代、サファリ入場料金、

昼食代、旅行傷害保険

要件：町内在住ひとり親家庭で子どもさんが十八歳以下の方

定員：四十七名（定員になり次第締め切ります）

申込み：七月五日（月）午前九時から

事務所来所あるいは電話等でお申込ください

夏休み親子福祉教室開催

今年の夏休みは親子で、介助犬について勉強してみませんか？

日時：八月二十六日（木）雨天決行

目的地：日本介助犬協会（長久手町）、キューピー拳母工場見学

対象者：町内在住の小学生・中学生と保護者

参加費：大人 一, 八〇〇円

小学生 一, 三〇〇円

小学生未満 八〇〇円

含まれるもの：交通費、昼食代、日本介助犬協会協力金、保険代、

申し込み

七月五日（月）午前九時より事務所へ来所又は電話等でお申込み下さい。

登録ヘルパー募集

私たちと一緒に働いてみませんか

応募資格：介護福祉士またはホームヘルパー養成研修2級課程修了者で六十五歳未満の方

活動内容 高齢者及び障がいをお持ちの方への支援

生活援助・・・掃除、洗濯、買物、調理等

身体介護・・・入浴介助、排泄介助、清拭、通院介助等

時間 午前七時～午後八時三十分で可能な時間。時間、曜日はご相談ください。

賃金 当社規定による。

募集人員 若干名



提出書類 履歴書（市販の物で可能、写真貼付）・資格取得を証明するもの